

I 道徳教育の目標は

学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養います。道徳的心情は、道徳的価値の大切さを感じ取り、善を行うことを喜び悪を憎む感情のことです。道徳的判断力は、それぞれの場面において善悪を判断する能力です。道徳的実践意欲と態度は、道徳的心情や道徳的判断力によって価値があるとされた行動をとろうとする意欲や態度です。

II 道徳の時間（道徳教育のかなめ）は、………心にひびく時間にします。

道徳的価値及び人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成する時間です。資料を通じて自己を見つめる力を育て、仲間や多くの人々との意見交流を通して自ら生きる規範を育てることです。児童にとって道徳の時間は、自ら生きる指標となる様々な価値と出会い、新たな自分自身と出会う時間でもあります。

III 道徳の内容を4つの視点からとらえると

- 1 主として自分自身に関すること
- 2 主として他人とのかかわりに関すること
- 3 主として自然や崇高なものとかかわりに関すること
- 4 主として集団や社会とかかわりに関することです。

IV 4つの視点に含まれるすべての内容項目を指導します

- 1 低学年（1・2年）…16項目
特に基本的な生活習慣や善悪の判断、社会生活上のルールを身に付けることです。
- 2 中学年（3・4年）…18項目
特に自主性、協力して助け合う態度を育てることです。
- 3 高学年（5・6年）…22項目
特に自立心、国家・社会の一員としての自覚を育てること。また、なやみや心の揺れ、かっとう等の課題を積極的に取り上げ考えを深められるようにします。

V 道徳の時間の評価は

道徳の時間は、児童の人格そのものにはたらきかけて児童の道徳性を高めるものであるため、数値などによる評価はしません。教師と児童の心のふれあいを通して、児童の道徳性を共感的に理解して評価します。

- 日々の生活の様子から ○ 道徳の時間に使ったこどもの自己評価 ○ 日記や心のノートから

VI 保護者へのお願い

家庭は、子どもの人格形成の場であり、主体性を育む上で心の支えとなる所です。子どもたちは、礼儀、感謝、思いやりなど人間生活に必要な基本的な道徳的価値を家庭で身に付けます。そして、学校生活の中で、社会性や協調性、社会生活上のルールや基本的モラルなど、道徳的実践力を付けていきます。

学習の中では、道徳の内容を分かりやすく表した資料やワークシート（心のノート等）を用い、道徳性を養っていきます。内容によっては、保護者の方に記入をしていただくこともありますので、ご協力をお願いします。

1年 道徳

月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
4	学校だいすき 「毎日を気持ちよく」	・学校の人々に親しみをもち、学校生活を楽しもうとする心情を育てる。
	気もちのよいふるまいを※	・日常生活におけるあいさつの大切さを知り、気持ちのよいあいさつを心がけようとする態度を養う。
5	自分でやることはしっかり※	・自分でやらなければならない勉強や仕事はしっかり行う態度を育てる。
	きまりをまもって 「ちかみち」	・きまりを守ることが安全や安心な生活につながることを理解し、きまりを守って安全に生活しようとする心情を育てる
	フレンドタイム	・いろいろな友達がいることを知り、仲良くしようとする気持ちを育てる。
6	ことばのちから 「ふわふわことばちくちくことば」	・人を嫌な気持ちにする言葉や悲しい気持ちにする言葉を言わず、明るい心で生活しようとする態度を養う
	生きものにやさしく※	・自然に親しみ、動物や植物をやさしい心で世話しようとする心情を育てる。
	たいせつないのち 「ぼくのじこ」	・危ない場所や遊びについて理解し、危険から身を守ろうとする態度を養う
	へいわについてかんがえよう 「きんぎょがきえた」	・戦争について知り、平和な社会を築いていこうとする心情を育てる
7	じょうずになりたいこと 「みんながんばっているね！」	・自分の目標に向かって、一生懸命努力しようとする意欲を育てる。
	きまりをまもって 「あめふり」	・学校生活に必要な約束やきまりの意義を考え、みんなのために守ろうとする心情を育てる。
9	きそく正しく気もちのよい毎日を※	・規則正しい生活をするこの大切さを知り、自分でできることはする態度を養う。
	はたらくことのよさをかんじて※	・みんなのために、自分のできる仕事は積極的に行おうとする態度を養う。
	もったいないってどんなこと 「もったいないばあさん」	・自分の身の回りのものを大切に扱おうとする態度を養う。
	いつもありがとう 「どろどろ」	・日ごろお世話になっている人々に感謝する心情を育てる。
10	あたたかい心で親切に※	・身近な人たちに温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。
	いのちを大切に※	・生きていることを喜び、生命を大切にしようとする心情を育てる。
	ゆうきをだして 「いっしょにやろうね」	・友達と進んでかかわり、仲よくしようとする心情を育てる ・正しいと思ったことは、恐れなくて、勇気を持って行おうとする態度を養う。
	まちのおまつり 「おまつりにいったよ」	・自分の住んでいる町に親しみ、愛着を持つ気持ちを育てる。

11	たのしくあそぼう 「みんななかよし」	・うそをついたりごまかしをしたりしないで、明るい心で生活しようとする態度を養う。
	かぞくのためにできること 「いいおぼけ」	・父母など家族の人の優しい心づかいや努力に対して感謝し、親愛の心を持つようとする心情を育てる。
	しぜんのおつくし 「そらを見あげて」	・美しいものや清らかなものに感動する心情を育てる。
	きまりをかんがえる 「らいおんのがっこう」	・学校や家庭でのきまりや規則の大切さを知り、きまりや規則を守ろうとする心情を育てる。
12	たのしいかぞく 「でも、だあーいすき」	・父母など家族の人のやさしい心づかいや努力に対して感謝し、親愛の心を持つようとする心情を育てる。
	てではなす てでうたう 「しゅわでうたおう」	・友達や幼い人などに温かい心を持ち、親切にしようとする心情を育てる。
1	すてきなきゅうしょく 「きゅうしょくじまん」	・自分の住んでいる町に親しみ、愛着を持つ気持ちを育てる。
	みんなのものをこわしたら 「おばあさんのけが」	・みんなで使うものを大切に扱おうとする態度を養う。
	いきもののふしぎ 「どこにかくれているのかな」	・美しいものや清らかなものに感動する心情を育てる。
2	いのちをたべる 「『いただきます』ということ」	・かけがえのない生命の尊さに気づき、大切にしようとする心情を育てる。
	ともだちのよいところ 「こころをこめてありがとう」	・友達と仲よく助け合っていこうとする心情を育てる。
	たいせつなもの 「たからものはなかに」	・日ごろお世話になっている人々に感謝する心情を育てる。
	じぶんのしたこと 「ごみひろい」	・よいと思うことを、進んで行おうとする心情を育てる。
3	きもちのよいことば 「こころをこめてありがとう」	・気持ちのよいあいさつや言葉づかい、動作の大切さを理解し、礼儀正しく相手に接しようとする態度を養う。
	1ねんせいのために 「きょうしつさん、ありがとう」	・友達といっしょに自分たちの学級を大切にすることを育てる。